

FilmArray 隹膜炎・脳炎パネル	8208400			
	担当部署			
	微生物			
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項	該当なし			
オーダリング手順	1 電子カルテ→指示①→検査→*7.特殊細菌→			
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報	脳脊髄用カテーテルなどCNS留置型医療機器から採取した検体の検査に使用することはできない。			
検査受付時間	8:45~17:00			
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項	該当なし			
検体採取の特別なタイミング	汚染しないよう無菌的に採取する。			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 隹液	35 減菌管	なし		
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件	室温 採取後直ちに提出			
検体受入不可基準	1) 検査ラベルがない検体 2) 腰椎穿刺により採取した脳脊髄液以外の検体 3) 指定容器以外で採取され提出された検体 4) 保存・搬送中に容器が破損した検体			
保管検体の保存期間	2週間（再検査・追加検査は要連絡）			

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階 中央検査部								
測定時間	当日中								
生物学的基準範囲	陰性 (-)								
臨床判断値	該当なし								
基準値					単位 なし				
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値				
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし				
パニック値	高値	該当なし							
	低値	該当なし							
生理的変動要因	該当なし								
臨床的意義	髄膜炎（脳脊髄膜炎）は感染症のなかでも最も重篤な疾患であり、迅速な診断と適正な抗菌薬治療の開始が、患者の予後と後遺症の発症に直結する。したがって、髄膜の検査は微生物検査のなかで迅速性と正確性が最も要求される。 「JAMT 技術教本シリーズ 臨床微生物検査技術教本 2017 年」								